

*ご挨拶に代えて

0.本年度課題解題

1.製図試験.com コンセプト

2.選ばれている 5 つの理由

3.合格までの学習工程

4.コース解説

5.直接・オンライン指導コース日程

6.学習アイテム一覧



ご挨拶に代えて－悪意と戦い奮める指導宣言

□製図試験.com とは

はじめまして、製図試験.com 代表の山口です。数あるサイトの中で製図試験.com によるこそ。

弊社は 2000 年に学科製図.com としてスタートし、3000 名の一級建築士を輩出してきたサイトです。

一級建築士設計製図試験にまつわるテキストを学芸出版社より 7 冊上梓してまいりました。

現在、8 割弱の受験生が資格学校に通っている一方で、**実は資格学校離れが進んでいます**。もう資格学校一択の時代ではありません。コロナがあり、ウクライナ侵攻があり、これだけの円安とインフレ。このような状況下で 100 万円近いもしくはそれ以上の費用を払うこと自体がもう異常なのです。これだけインターネットが生活のベースになり、情報があふれかえっているにもかかわらず、未だに資格学校に通わざるを得ない選択肢しかないのか、今の受験体制でいいのだろうかという疑問を持った方がこのサイトに訪れていただいているのだと感じています。

□悪意に満ちた製図試験という位置付け

私の印象では、まじめな性格の良い受験生がなかなか合格できないという印象を持っています。試験には合格させるモーメントより、不合格にするモーメントの方が圧倒的に強く、3 割の合格者に絞るためには、悪意を持って問題を作るしかないからです。そこで 2020 年度以降コンセプトとして、「**試験問題のどこに悪意があるのかを見抜くこと**」を重要なミッションとして位置づけてきました。しかし試験元も変化してきます。2020 年～2021 年を観る限り、若干傾向が変わりつつあります。淡々と単にミスを狙っているだけの傾向です。仕掛けを色々変えて、目先を変えて、なおかつ、あまり難しくはせず、ミスしたら小さなミスでも不合格にしていくという更にどうしようもなく劣化した試験となっているように感じます。

□そのための学習方針

ですが合格することがあなたと弊社の最終ミッションです。そのための学習方針として 2 点。

ひとつは悪意のない問題をスタンダード課題としてそのエスキース手法から作図、要点に至るまでを身につける基本、次に過去問題がいかに悪意と邪念があったかの検討、そしてその上で悪意のある邪念のこもった人間を不幸に導くような問題群をこなす応用とつなげていくという学習手法。

もうひとつは、細かい指示の多い平易な課題をノーマスで時間内に解答する学習手法です。

この 2 つの手法を通じて学習イメージが持てるようになれば、随分製図試験との関わり方が変わると考えています。

□ほめる指導＋ストーリー性。

あなたは一級建築士設計製図試験にまだ合格していません。そのため、この試験が基本的に減点法採点であることから、資格学校をはじめとして、よいところはほめられず、欠点のみをあげつらう指導が横行しています。ですが、近年そのことで心が折れている受験生が非常に多いという事実に着目し、2020 年度より、厳しく指導しつつもよいところに目を向け、できていることに自信を持ちつつ、できていないことについてはその自信を持ってフォーカスする方向で指導を進めています。

また、昨今のテキストを読まなくなっている状況から「マンガでわかる製図試験」を発刊し、かつストーリー性を取り入れた解説を取り入れていています。

詳しくはメールマガジンの配信を行っています。<https://seizushiken.com/mmz> からご登録ください。

2022 年 7 月 24 日

製図試験.com 代表 山口 達也

0.本年度課題解題「事務所ビル」

■要求図書

1 階平面図・配置図（縮尺 1/200） 各階平面図（縮尺 1/200）

※各階平面図については、試験問題中に示す設計条件等において指定する。

断面図（縮尺 1/200） 面積表 計画の要点等

（注 1） 建築基準法令等に適合した建築物の計画（建蔽率、容積率、高さの制限、延焼のおそれのある部分、防火区画、避難施設 等）とする。

（注 2） 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化基準」を満たす計画とする。

■建築物の計画に当たっての留意事項

・敷地の周辺環境に配慮して計画する。バリアフリー、省エネルギー、二酸化炭素排出量削減、セキュリティ等に配慮して計画する。各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。

・構造種別に応じた架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を計画する。

・空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

■初めての 3 年連続「基準階」型

受験生以上に業界は困惑していることでしょう。製図試験始まって以来の 3 年連続で「基準階」型出題となりました（ただし郊外自社ビル型の可能性あり）。基準階型の解法は、公共施設型と一部異なるため、その対応が必要です。

ただし令和 2 年、3 年を受験してきた方にとっては、手法的には類似しているため多少有利ではないかと考えられます。

■過去問題は平成 10 年度と平成 21 年度

事務所ビルが出題されたのは、平成 10 年度「多目的ホールのある事務所ビル」と平成 21 年度「貸事務所ビル（1 階に展示用の貸スペース、基準階に一般事務用の貸スペースを計画する。）」です。それ以前で昭和 54 年度「地方都市に建つレストランつき中規模事務所」、昭和 39 年度「銀行支店をもつ貸事務所」昭和 37 年度「高層貸事務所」がありますが、あまり参考にならないので省略します。

事務所ビル課題は集合住宅や高齢者介護施設に比較して筆記量が少ないため、難度を上げるために別の仕掛けが必要になると考えられます。

平成 10 年度では突然オープンスペースが出題され、平成 21 年度では、変形敷地＋道路斜線、地下機械式駐車場＋ターンテーブルが出題されました。当初は馴れないかもしれませんが、事務所ビルは基準階型では計画も平易な部類になるのでそういった対応も不可欠だと考えておきましょう。

■平成 10 年度・平成 27 年度に近い全体構成

その上で全体構成は、3 階以上が基準階型オフィスで 1－2 階が別構成というのが、全体構成のスタートラインだと思われます。そういう意味で平成 10 年度及び基準階は集合住宅ですが、平成 27 年度に近い全体構成になると考えられます。ただ平成 21 年度以降、複合施設は出題しないと公言してきた JAEIC ですが、令和 3 年のような複合性を含んだ出題をしてきていることから、完全に前言を反故にした複合施設での出題も想定しておく必要があるかと考えられます。

■ポイントとなる計画の要点

建築計画で大きく差がつかない場合、計画の要点に絡む図面表現と記述は大きなポイントになる可能性があります。特に今回初めて「二酸化炭素排出量削減」というこれまでの建築環境負荷低減から一歩踏み込んだ表現となっているため、この部分については深掘しておきましょう。特に ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）の学習は必須かと思われます。

■学習方針と積み上げ方

1) 基準階型エスキースの習得

基準階型エスキースは、基準階を除けば、1－2 階の公共建築物だと捉えることが可能です。まず基準階の面積ボリュームを押さえてしまうことで、残りをまとめるという手順を固めていく必要がありますが、これについては学科試験が終わり次第、**7 月中**にその解説を行うことにします。（7 月 28 日 zoom 講義を予定）

2) 基準階オフィスパーツの習得

基準階としてのオフィスはかなりパターンが明快であるため、習得すればこの部分についてあまり迷うことはなくなります。逆にこの部分の習得が完了するまでは非常にわかりにくいのもまた特徴です。基準階オフィスパーツは **8 月中**にパーツ集を固める予定です。

3) 基準階の残り部分との格闘

基準階コアだけで全体構成ができるなら平易なのですが、平成 27 年度のように基準階の残りの部分で 1－2 階専用のエレベーターが出題される構成となると結構苦手な方も出てきます。この部分については、出題が予想されるため、**9 月上旬**くらいまでタイプ別に徹底的に押さえておく必要があると考えています。

4) 計画の要点对策

前述したように ZEB を含む要点記述は本年度の可否の要になる可能性があります。この部分については、建築計画・設備計画を中心に押さえておく必要があり、まず理解、その上での暗記が不可欠です。（**8 月末以降**）

5) 作図を固めておくこと

1) － 4) については弊社の準備もあり、今日明日にすぐ準備できるものではありませんが、学科試験後、初受験する方や図面が苦手な方は、8 月の夏期休暇くらいまでに 10 枚くらい描きあげるつもりで、作図の手順を固めておいていただきたいと思います。

2022 年 7 月 22 日 18:51 製図試験 com 山口 達也分を一部修正

5) の補足

作図手順ですが、拙著「ステップで攻略するエスキース（以降ステップエスキース）」の P92 以降に、解説と手順を明記しています。まだ作図経験が少ない方は、OPEN 課題を使って、作図手順を考えながらトレースしてみてください。最適な手順を**考えて描く**ことは必ずエスキースや問題攻略のためのヒントと足がかりになります。

特に OPEN 課題は、フリーハンドで描いているため、これで十分合格できますが、一部あいまいな表現が残されています。図面表現として不明な部分、例えば、なぜここに防火設備が必要なのかとか、EPS ってここでもいいのかとか、不明な部分は、青いフリクションボールペンとかでトレースしておくことで現時点での理解度を把握することができます。

そういったプロセスを残しながら、自らの成長過程を記録しておくことで、9 月末や試験直前にこのプロセスがあなたを助けることになります。まさにトレースから始まるあなたの成長記録アルバムを作りながら、目の前の課題と対峙していくこと。これが製図試験勉強の醍醐味であり、生涯使える方法なのです。

1.製図試験.com コンセプト

弊社が一貫して主張しているコンセプトは以下の4点です。

（１）多くの選択肢がある方がベター

資格学校での内容がぴったり当てはまる方も当然おられますが、当てはまらない方もまた多いのが事実です。インターネットの情報はどこまで信頼できるのかもわからないし、内容が伴わないサイトや通信添削があるのもあるかもしれません。それでも多くの選択肢がある方が受験生にとってはベターだと考えています。最も悲惨なのは、合わない学校やしぐみを選んでしまうことです。選択権は常にあなたにあります。

（２）投資資金とその回収予定

資格学校に通うと学科からだと100万円くらいかかってしまいます。近年T社が非常に廉価で始めたのは、内容はともかくとてもよい傾向だと思っています。仮に一級建築士に合格すると1万円手当が付いたとします。それで100ヶ月、約9年弱その資金回収にかかるわけです。2年行くと18年。子供が成人するくらいかかるわけです。でも18年後、もう一級建築士はおろか日本もどうなっているかわからないのに、そんな額の自己投資をするのはちょっと疑問があります。私なら年20〜30万円程度で取得したいのが一級建築士というイメージです。

（３）試験を通じて「建築する」ことを学べるしぐみ

私自身、関西国際空港旅客ターミナルビル設計を通じて、レンゾピアノ氏及び諸先輩方々から本当に多くのことを学びました。レンゾピアノの建築観は日本の設計事務所の考え方とは大きく異なるものがあり、設計製図試験を通じてその建築観を受講生の皆さんに伝えたいという想いがあります。（２）に絡むことですが、一級建築士の資格自体で投資回収をすることは難しいのですが、「建築する」*1ことを体得すれば、生涯においてあなたはそれを使うことができます。

*1 建築する：情報を集め、カテゴリに分類し、使える状態でストックする行為。

（４）「絶対合格」をめざす。

「絶対合格」とは、試験会場で「時間です。止めてください。」と試験官が言った瞬間に、「今年は合格できた」と確信できる境地です。サッカーで言うと1対0で辛勝ながらイメージ通り完勝という感じでしょうか。予測していた事態、アクシデントを全て乗り越えて勝利を確実にもぎ取るイメージです。弊社では常に「絶対合格」をめざしています。

では弊社が選ばれている理由を点にまとめましたのでご覧ください。

2.製図試験.com が選ばれている 5 つの理由

これまで多くの合格者を輩出してきた製図試験.com が選ばれているにはいくつかの理由があります。その多くは資格学校や他の通信添削では得られない内容を含んでいます。じっくりご覧ください。

1.エスキースを描き出すステップ学習

弊社では「合格ラインの大枠から外れない」、「減点要素が少ない」、「確実に完成させる」ための基礎知識力と問題対応力を身につけることにターゲットしています。それは製図試験が減点法による採点が基本になっているため、不合格にならない答案図面を作成することこそが合格の鍵だからです。

そのため問題文の読解方法、エスキース手法の確立を徹底的に解説し、「解き方を理解する」ためにエスキースの描き出し指導を行っています。エスキースは描き出すことでそのプロセスも添削することができます。しかし資格学校ではエスキースは添削せず（できず）、単に問題を解くこと、宿題をこなすことで合格をめざしているのが現状です。

2.類似過去問題を徹底的に分析

学科試験を突破された方のほとんどは過去問題を解いてきたはずですが、でも製図試験は別物と思うせいか、製図試験の過去問題を解いていない方が非常に多いのです。過去問題には多くの製図試験のしくみが埋め込まれています。そしてそれは生き物のように変化しているため、単に解くだけではダメで、その背後にあるメタ背景のようなものを理解することが必要不可欠なのです。弊社では、7月までの期間（前半戦と呼んでいます）において、過去問題のうち特に重要な課題を選定し分析・解説を行います。昨年度もこの解説が非常に好評でした。

3.少ない課題数で無理ない学習計画

単に課題を多く解きたい方は、資格学校に通うことをお勧めします。製図試験は、たったひとつの建物を計画するだけの試験です。あなたが建築設計で基本計画案を任された際にいろんな敷地で計画するでしょうか。もちろんひとつの敷地で計画しますよね。建築士に求められている能力は、いろんな敷地で計画できる力ではなく、その敷地での最適解を提案できる能力です。そのための最適解を答えられるように多くの問題を解くというのはひとつの選択肢でしかありません。もっとじっくり練って考えたり、逆にひとつの敷地で多くの可能性を考えていく練習もひとつの学習方法なのです。

弊社では、前半戦は月 1 課題、試験課題が発表後の後半戦では 2 週に 1 課題というペースで出題しています。これでもまだ多いくらいです。じっくり考える、その際、他受講生の案も観る、そのことで「深める」ことが重要だと位置づけています。特に課題を多く解くことで、解くことが目的になってしまい、こなすだけで精一杯、とても復習したり、深められないという声をあちこちで聞きます。それは明らかに問題数過多なのです。

4.問題制作者が直接添削・解説

弊社では今のところ代表の山口本人が問題制作者であり、そして直接あなたの答案を解説・添削することで、各課題の狙いを確実に伝えます。これは意外と重要で、直接指導を受けるのと、それを伝えた講師から指導を受けるのは、似て非なる部分があります。なぜなら問題作成者の意図を理解していない講師も多く、また問題作成の意図が不明な問題も多いからです。私自身は、自身が作成した問題について、これはこういう点はいい問題だと思うとか、ここはヘマやってすみません、ということオープンに伝えています。課題への疑問点が直接問題作成者に聴けるといのは大きなメリットだと感じています。

5.リーズナブル価格の提供

製図試験.com では、初年度の方、試験経験者の方、資格学校に通っている方、地方の方等様々な受験生のニーズを実現しつつリーズナブルな費用のコースを提供しています。あなたの学習環境・経済環境に応じてコースをお選びください。

では合格までの学習工程について解説しましょう。

Cf:サブテキストの利用について

製図試験.com では様々なサブテキストをお勧めしています。それは製図試験との距離感を重視しているからです。熱心すぎる受験生ほど製図試験との距離感を失ってしまいがちです。約 4 割が合格するそれほど難しくない試験なのですが、問題を受験生自身で難しくしてしまう傾向があります。

そこで試験を俯瞰できる力が不可欠になりますが、それは製図試験テキストでは不可能です。製図試験を相対化するためには、非製図試験テキストが不可欠であり、お勧めしているのは下記の 3 冊です。

「地頭力を鍛える 問題解決に活かす「フェルミ推定」」細谷 功 東洋経済新報社

メタ思考のためには「地頭力を鍛える」が最も参考になります。

一級建築士取得後も必ず役に立つテキストです。



「仕事のミスが絶対なくなる頭の使い方」宇都出 雅巳 クロスメディア・パブリッシング

高速大量回転法の提唱者で山口の速読術の師匠でもある宇都出先生の快著。

これ 1 冊で合格する人も出てくるミスをなくすためのノウハウテキストです。



「21LESSONS」ユヴァル・ノア・ハラリ 河出書房新社

全くメンタルも試験も関係ないのですが、この 10 年でひとつの頂点とも言える一冊。

是非、息抜きにもならないですが、このテキストは手元に置いて読んでいただきたいです。



3.合格までの学習工程

全体のカリキュラムは 1 月からスタートし、本年度試験課題発表までを前半戦、発表から試験当日までを後半戦とし、全てを合わせた期間を通期と呼んでいます。そのスケジュールと学習方法について解説します。

合格スケジュール

後半戦を 5 つのタームに分けています。

7月下旬 試験課題発表～	見学・資料集め (open 課題、第 1 課題)
8月中旬 夏期休暇～	本試験課題分析対策 (第 2 課題)
9月上旬 学科合格発表～	課題対応実問題対策・弱点補強 (第 3 課題)
9月中旬	課題対応実問題対策・弱点補強 (第 4 課題)
9月下旬 最終週～	まとめ：クールダウン (模試 + まとめ)

■製図試験.com 合格工程表

製図試験後半戦攻略スケジュール

ver.2022/06/25

項目\日程	7月		8月		9月		10月	備考
	基礎知識力		課題分析		問題対応	弱点	まとめ	
試験	学科○						製図○	本試験は10月11日
課題発表(7/21)		○						
課題説明会キックオフ		○						東京・大阪・オンラインで開催
オンライン合格基礎講座								4月からスタートいつでも受講可能
オープン課題		○						無料公開の学習用課題
後半戦通信添削コース		1	2	3	4			コース2/3/4 あり。
本年度課題分析帖			○					2020用エスキース手順・課題分析
基礎問題集4課題			○					2020問題集(問題/解答のみ)
本年度パーツ集				○				2020用パーツ集
シンクロ二模試						○		上記コースに含まれます。9月26-27日予定
直前講習会						○	○	模試当日夜に直前まとめを開催
セミナー (東京・大阪O/L)		○	○	○	○	○	○	計6回程度を予定

製図試験.com の学習方法の特徴

・合格への王道：ステップで細分化

製図試験は様々な条件が組み込まれつつも、ひとつの建築物の計画が出題されます。加えて回答に至るまでに、問題文読解、エスキース（ゾーニング＋プランニング）、要点記述、作図、見直しの5工程で構成されています。この5工程全てを時間内に行うための実技演習を積むことが、試験対策としての学習方法になります。

弊社では、読解を9ステップ、エスキースを4ステップ、記述・作図を9ステップ、見直しと合計23ステップに細分化しています。全てのステップは毎回必ず利用し、時間内に回答に至らない場合はどこかに不備があります。それを全て克服することがこの試験の合格への王道です。

・自己分析すること

まず自身の不合格要因となっているステップの不備を見つけ、それを克服する必要があります。そのためには自己分析が不可欠です。弊社では、最初に自己分析課題に挑戦していただき、どのレベルのどのようなことができていないのかを、添削しています。そこで学習プランを立て、目標を明快にして試験に臨むことが合格への第一歩と考えています。

・試験分析をすること

次に「一級建築士設計製図試験」とは何なのかを理解するために、過去問題分析が不可欠です。受験生の多くは意外にも過去問題分析をしておらず、結局「製図試験」とは何なのか分からないまま、課題を解いているだけの方が多いです。弊社を始め、資格学校でも過去問題をバラして、自社課題の中に取り込んでいますが、一次資料の過去問題に当たらずして、二次資料の課題を解いても本当の試験は見えません。そのくらい過去問題の分析は重要です。

・各ステップの精度を上げる戦い

自己分析して自身の弱点を知り、試験分析をして試験問題のポイントを理解すれば、合格するために必要なポイントが見えてくるはずですが、そこから各ステップの補強と精度を上げる戦いとなります。苦手な部分をより深く理解すること、より幅広く理解することで、苦手意識を取り除きます。不明な点はできる限り即答できるシステムとして LINE ライクな BAND や ZOOM といったアプリを会員サポート用に導入しています。

そしてポイントになるのが反復練習です。細分化したステップについて、できない部分はトレースからおこない、できるまで何度も何度も練習することです。「できる部分まで細分化しできるまでやる。」これが唯一のコツです。

・バランス感覚やメタ思考を身につけること

積み上げた各ステップを統合すること＝出題されるのは1問なのですから、この統合する能力が必要になります。烏合の衆ではなく磨き上げた各ステップのようですが、サッカーで各選手が一流でもチームとして強いかは別であるように、この統合が上手いかわないと機能しません。各ステップの統合には、バランス感覚やメタ思考が重要な役割を果たします。

これらを身につけるには、自身の答案と解答例の間にある無数の可能性を読み取ることが最も近道であり、それには同じ課題をいかに他受講生が解いているのかという情報が必要です。そこで添削カリキュラムではオンライン課題レビューやフリーディスカッションを重視しています。

・メンタルを鍛えること

メンタルについては、本年度から心理カウンセラーでもある代表の山口が、本試験のイメージトレーニングを導入し、試験メンタルの育て方について指導します。長い間封印していたのですが、近年の本試験での崩れ方を観て、再度メンタルトレーニングを始めることにしました。

次に製図試験.com コースと利用方法について解説します。

4.コース解説

弊社には受験生の状況にあわせて、教材／添削／オンライン塾／直接指導塾の4コースがあります。
まずコース生共通の特徴・特典は下記の通り5点あります。

- ・全ての課題関連資料は紙ベースで送付＋ダウンロード
- ・ZOOM オンラインを利用した課題解説レビューの受講
- ・メルマガ「一筆入魂」とは別にコース生専用メルマガ送付
- ・コース生専用メンバーズサイト BAND で自由に質問可能
- ・講習会、教材の全てがコース生価格で提供

① 教材コース1

教材＋ZOOM 解説が必要な受験生用コース。教材は下記の表にあるように、課題、解答例、解題、解説、過去本試験問題から厳選したもの、本年度課題分析帖等があります。2019 年度の課題分析帖はサンプルで公開しています。

<https://seizushiken.com/DL2020/2019cho01.pdf>

主に資格学校に通っている方を中心に、問題と解答例だけが必要な受験生用のコースです。

② 添削コース2

教材＋ZOOM 解説＋通信添削

①の教材＋図面添削指導のあるコースです。

通常の通信添削講座はこれにあたります。

図面はタッチを撮るため郵送をお願いしていますが、PDF での送付でも受け付けています。

③ オンライン塾コース3

教材＋ZOOM＋通信添削＋オンライン塾（平日夜開催）

オンライン塾を zoom クラスとして開催。

ご自宅でエスキースや図面が描ける＋パソコン＋wifi が使える環境であれば、ご自宅がそのまま教室になります。
遠方での受験生は特にお勧めできます。

④ 直接指導塾コース4

教材＋ZOOM 解説＋通信添削＋直接指導教室。東京(日曜日開催)、大阪(土曜日開催)のスクーリング教室です。
スケジュールについては後述する 5.コース日程のページをご覧ください。

■コース教材一覧

		課題*2	ZOOM*3	添削	O/L*4	直接*5	費用*6
1.メルマガ		情報配信用及びコース生用があります。					0 円
2.Udemy 基礎講座		建築計画の基礎を学ぶためには不可欠な講座です。*1					下記コースに込
3 コ ー ス	①教材コース	○	○				78,000 円
	②添削コース	○	○	○			123,000 円
	③OL 塾コース	○	○	○	○		148,000 円
	④直接指導塾コース	○	○	○		○	173,000 円

*1：一度だけお申し込みください。次年度からはずっとご利用いただけます。

*2：課題(前半 5、後半 5 課題)、解説、解題、解答例、厳選過去問題、

*3：ZOOM を使った他受講生図面・課題解説＋各種データダウンロード(30GB～)

*4：前半戦月 2 回程度、後半戦週 1 回程度(土曜日夜 19 時～を予定・録画あり)

*5：前半戦月 1 回程度、後半戦隔週＋自習教室隔週（つまり毎週）

*6：UDemy 基礎講座のお支払いは一度のみで、その後は生涯使えます。

■コース費用詳細

↓Udemy 不要・既申込

コース	期間	Udemy講座	会費	課題	添削	O/L塾	直接塾	合計	h30以降生	備考
コース1 教材のみ	前半戦	18,000	20,000	30,000				68,000	50,000	課題分析帖、ルールブック
	後半戦	18,000	30,000	30,000				78,000	60,000	前5/後5課題(模試合)
	通期	18,000	30,000	60,000				108,000	90,000	後半のみ問題集・パーツ集
コース2 + 添削	前半戦	18,000	20,000	30,000	45,000			113,000	95,000	コース1/2ともO/L解説
	後半戦	18,000	30,000	30,000	45,000			123,000	105,000	メンバーズサイトは
	通期	18,000	30,000	60,000	90,000			198,000	180,000	利用可能
コース3 + オンライン塾	前半戦	18,000	20,000	30,000	45,000	25,000		138,000	120,000	最大23名@zoomクラス
	後半戦	18,000	30,000	30,000	45,000	25,000		148,000	130,000	最大23名@zoomクラス
	通期	18,000	30,000	60,000	90,000	50,000		248,000	230,000	最大23名@zoomクラス
コース4 + 直接塾	前半戦	18,000	20,000	30,000	45,000		50,000	163,000	145,000	最大10名@class
	後半戦	18,000	30,000	30,000	45,000		50,000	173,000	155,000	最大16名@class
	通期	18,000	30,000	60,000	90,000		100,000	298,000	280,000	最大16名@class
コース変更可能	初回のみ @18,000	通期がお得	@6,000	@9,000	@5,000	@10,000		分割払い可		

Cf:どのコースがオススメなのか。

どのコースを選んだらよいのかという質問をよく受けますので簡単にまとめてみました。

④直接指導塾コース

スクーリングでは1日かけて丸々1課題解くようなことはしません。課題は事前に解いてきて、午前中はその課題レビューから始めます。次にその内容を巡っての講義。そしてそれを受けてワーク（例えば動線図を何度も描く等）を行います。また別途自主ゼミ形式ですが、場所を確保して6時間勝負で課題に挑戦していただけます。

③オンライン指導塾コース

直接指導で行っている講義の部分とワークの解説をZOOMで行います（平日夜を予定）。

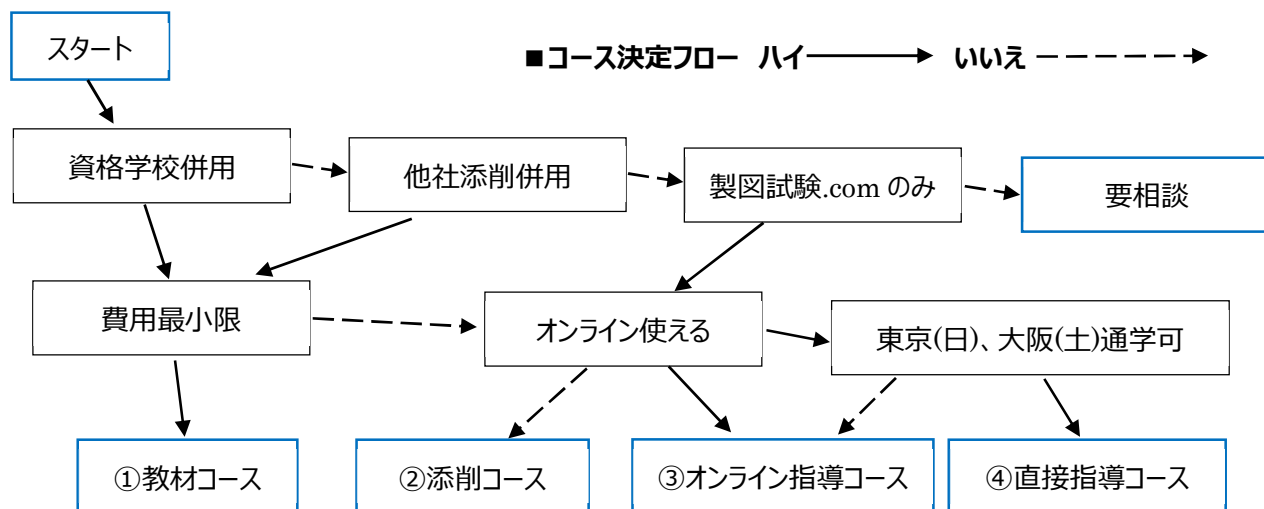
また必要に応じてオンライン個別指導します。講義は後日ビデオ学習で何度でもご覧になれます。

②通信添削コース

通信添削のみですが、ZOOM オンラインでの課題レビューの閲覧はできるのでそれを参考にしつつ、図面添削で学習します。オンラインが苦手とか、学習環境が整わない受講生もおられるため、このコースを作りました。BAND というLINE ライクなサポートサイトを使えるので、BAND を介して質問できます。

①教材コース

全ての資料と教材を手に入れることができます。またZOOM オンラインでの課題レビューも受講できますし、BAND サポートで質問もできます。添削がない分最もリーズナブルです。資格学校併用者にはお勧めできます。



5.直接指導・オンライン指導コース日程

直接指導コースの日程は下記の通りです。東京が日曜日、大阪が土曜日、オンライン塾は平日夜 19 時 or 21 時です。
尚、日程はコロナ等により変更する可能性がありますのであらかじめご了承ください。

令和4（2022）年度 直接/オンライン塾コース講習会日程予定表

ver.20220625

講習		大阪(土)/オンライン	東京(日)	備考
■後半戦(7月24日学科試験) 課題発表7月22日予定				
オープン課題		課題発表翌日		無料公開
ライブレクチャー	○	7月26日		本試験課題解説
第1課題トライ	—	7月30日	7月31日	自主勉強会
第1課題オンライン講習	○	8月6日	8月7日	オンライン
夏期講習会第2課題トライ	●	8/11-12	8/13-14	第1/2課題+α
第3課題トライ	—	8月27日	8月28日	自主勉強会
第3課題講習	●	9月3日	9月4日	第3課題+α
第4課題トライ	—	9月10日	9月11日	自主勉強会
第4課題講習	●	9月19日	9月18日	第4課題+α
後半戦シンクロニ模試	●	9月24日	9月25日	模試形式
直前最終講義	●	10月1日	10月2日	総まとめ講義
本試験日		10月9日		

↑ライブ●/オンライン自主勉強会は講師なしで自主ゼミのように6時間半トライを行います

製図試験comコース日程予定

2022/6/25現在

前/後	課題NO	問題送付	問題トライ	送付メ切	解題解説	添削図解説	添削返却	備考
原則日程		火曜日	隔週末	翌月曜日	翌金曜日	翌々木曜日	翌々火曜日	変則日程
オープン課題		7/23		添削なし	7/23		添削なし	概要を知る基本
後半戦	1	7/27	7/30	8/1	8/5	8/10	8/9	手順を身につける
	2	8/9	8/13	8/15	8/19	8/25	8/23	弱点補強・時間内トライ
	3	8/23	8/27	8/29	9/2	9/8	9/6	弱点補強・時間内トライ
	4	9/6	9/10	9/12	9/16	9/22	9/20	まとめ
	模試	9/20	9/24-25	9/26	9/28	9/30	9/30	必要に応じて(未定)

予定は変更する場合があります。

6.学習アイテム一覧

A:4つのコース+Udemy 基礎講座

A100S	通信添削 ①教材コース 1	対象：教材のみが必要な方	オススメ度◎
内容	資格学校の課題だけでは、不安になる方。違う角度の問題を必要とする方のために、製図試験.com の通信添削課題教材一式のみを購入できるのがこのコースです。 例年資格学校生を中心に、教材だけを希望する方が多いため、このコースを作りました。 図面添削がないだけで、製図試験.com の通信添削コースの教材を手に入れることができます。		1教材コース 
教材	教材は下記の 10 大アイテムとなります。 ①Udemy オンライン講座（A001Y） ②前半戦 8 課題（添削 4 課題（④自己分析課題を含む）+ 模試、③過去問題 3 課題） 後半戦 10 課題（添削 4 課題+ 模試+ ⑤基礎問題集 4 課題+オープン課題を含む） ⑥2021 年度課題分析帖冊子（B200Y）、最終まとめ資料、製図試験ローカルルールブック他 ⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権 ⑧オンラインレビュー-ZOOM の参加権 ⑨添削メンバー用メール配信 ⑩メンバーズサイト BAND 参加権		
費用	108,000 円（うち A001Y は 18,000 円） 前半戦のみ 68,000 円 後半戦のみ 78,000 円	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算で可能です。

A200S	通信添削 ②添削コース 2	対象：教材＋添削が必要な方	オススメ度○
内容	A100S に図面の添削をセットしたコースです。 ただしオンラインでの添削指導、レビューは行いません。 オンライン環境が整うのであれば、③オンライン指導塾コースをオススメです。 2添削コース		
教材	教材は下記の 10 大アイテムとなります。 ①Udemy オンライン講座（A001Y） ②前半戦 8 課題 （添削 4 課題（④自己分析課題を含む）＋模試、③過去問題 3 課題） 後半戦 10 課題（添削 4 課題＋模試＋⑤基礎問題集 4 課題＋オープン課題を含む） ⑥2021 年度課題分析帖冊子（B200Y）、最終まとめ資料、製図試験ローカルルールブック他 ⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権 ⑧オンラインレビュー-ZOOM の参加権 ⑨添削メンバー用メール配信 ⑩メンバーズサイト BAND 参加権		
費用	198,000 円（うち A001Y は 18,000 円） 前半戦のみ 113,000 円 後半のみ 123,000 円	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算で可能です。

A300S	通信添削 ③オンライン指導塾コース3	対象：学校に通えない方で遠方の方	オススメ度◎
内容	オンラインによるコース生として学びます。		
教材	A100Sと同様		
内容	製図試験.com のメイン教材です。 これまでの通信添削コースでは、直接指導することがなかなか実現していませんでしたが、このオンライン指導コースでは、オンラインアプリ ZOOM を使うことによって、直接添削指導をすることが可能となりました。 オンライン指導コースの方の特典は、 ①オンライン図面指導（課題レビューの際、取り上げて解説もしくは個別解説） ②オンライン個別指導（オンラインで実際に図面と改善方法について個別指導します） ③オンライン質問応答：ZOOM を使って、日々の疑問点を質問できます。とても表現にくいのですが、オンラインで製図試験.com の事務所に訪問して質問するようなイメージ。 ④別途、直接指導コースで行っている講義をオンライン指導コース生のみで開催（土曜日夜 19 時～） の 4 点です。 特に資格学校まで遠方の方で、自宅で学校へ行く以上の指導を受けたい場合は、このコースをオススメします。		
教材	教材は A100S の 10 大アイテム + オンライン指導です。日程は別途 6 .直接指導 オンライン指導塾 コース日程をご覧ください。 製図試験 com オンライン指導塾コース3イメージ		
費用	248,000 円（うち A001Y は 18,000 円） 後半戦のみ 148,000 円	備考	A001Y、B200Y は含まれています。 コースのバージョンアップは差額精算

A400S	通信添削 ④直接指導塾コース4	対象：スクーリング可能な方	オススメ度◎
内容	大阪は土曜日に大阪市内西九条で、東京は日曜日に早稲田でおこなっています。 人数限定のスクーリングで席数には限りがあります。 通常の資格学校のようなスクーリングですが、前述したように終日問題を解くということはありません。 1 日の講習イメージ 10 時までに集合、事前課題の答案を人数分コピー 10:00 図面レビュー 11:30 まとめ 12:00 ランチ 13:00 講義 15:00 ワーク 17:30 終了予定 4 東京・大阪 直接指導 コース 		
教材	A001Y+ 上記直接指導（10 回）及び自主勉強会（4 回）を予定しています。 日程は別途 6 .直接指導・オンライン指導コース日程をご覧ください。		
費用	後半戦 173,000 円 (うち A001Y は 18,000 円)	備考	全ての教材が含まれています。

A001Y	Udemy 基礎講座	対象：製図試験の基礎が学びたい方	オススメ度◎
内容	Udemy（ベネッセが運営補助）というオンライン講座を利用して、3 つのオンライン講座が学べます。各種資料は、ダウンロード可能です。Udemy の講座は、合格するまで何度でもご覧になれます。下記 URL では講座のはじめの部分を無料公開しています。  ◆エスキース講座 https://www.udemy.com/seizushiken101/ ・自己分析課題、エスキースステップ（ESTEP）解説、パーツ集の考え方/作り方 全 27 レクチャー ◆作図講座 https://www.udemy.com/seizushiken201/ ・作図手順（DSTEP）とその解説、作図練習の行い方、全 9 レクチャー + ボーナス 3 レクチャー ◆要点講座 https://www.udemy.com/seizushiken301/ ・建築計画系の要点、構造/設備系の要点の記述法、暗記テキスト付 全 16 レクチャー		
教材	Udemy 内に設定したオンライン講座。1 レクチャーあたり 3～20 分。スマホ、タブレット、PC で利用可能。 自己分析課題問題/解題・解答例・パーツ集・計画の要点帖（以上ダウンロード版）		
費用	34,800 円 コース生 18,000 円 (既受講者は合格するまで無償)	備考	スマホ・タブレットでの閲覧は Udemy アプリが便利です。

注) Udemy 基礎講座は 1 度申し込んだら合格するまで無償です。コースを申し込まれる方で以前に Udemy 基礎講座を申し込んでいる方は、**コース生 Udemy 分 18,000 円が減額**となりますのでご注意ください。

B:エスキース系テキスト

B100Y	ステップで攻略するエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	A001Y の Udemy（ベネッセが運営補助）オンライン講座のベーステキストです。テキスト内容についてのオンラインサポートと本年度課題(h30 対応)のオープン課題解説を行っています。 ISBN978-4-7615-3234-5C0052		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版		
費用	3,000 円 + 税	備考	



B101Y	エスキースアプローチ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	エスキースの方法論を説いた製図試験.com の前身学科製図.com のテキスト 平成 12 年～平成 18 年までの課題解説付。過去問題研究の上では重要なテキストとなります。絶版につき、弊社でのみ販売。		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 978-4761502515		
費用	2,500 円（コース生 2,000 円）	備考	残冊のみ



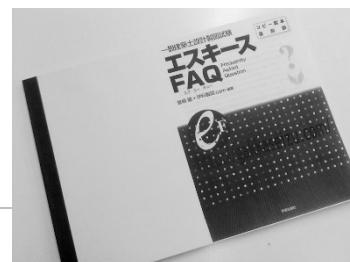
B102Y	わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	全室リストの原形となる図解法を解説したテキストでステップエスキースの原形本。h19 及び h21-h23 別刷過去問題解説付。絶版につき、弊社でのみ販売。		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 978-4761524371		
費用	2,800 円（コース生 2,200 円）	備考	残冊のみ



B103S	エスキースアプローチ + わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	B101Y+B102Y セット価格とします。		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 2 冊組		
費用	4,000 円	備考	残冊のみ



B104Y	エスキース FAQ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度○
内容	エスキースについて、よくある質問を問答形式でまとめました。 絶版だったのですが、コピー製本で復活させました。		
教材	A4 コピー製本 P128		
費用	1,800 円（コース生 1,200 円）	備考	コピーしたテキストです。



B200Y	2021 課題分析帖+パーツ集	対象：2021 年度課題を学びたい方	オススメ度◎
内容	本年度試験課題を丸ごと解説。+ 本年度用エスキース手法をまとめています。 本年度受験するために必須のテキスト だと断言します。 コース 1 / 2 / 3 / 4 生には全員配布します。 分析帖は 8 月中旬発送、パーツ集は 9 月上旬ダウンロード版となります。		
教材	コピー製本 40 ページ程度 + パーツ集 25 ページ程度		
費用	6,000 円（分析帖 4,000 円 + パーツ集 2,000 円）	備考	コース生には含まれています。

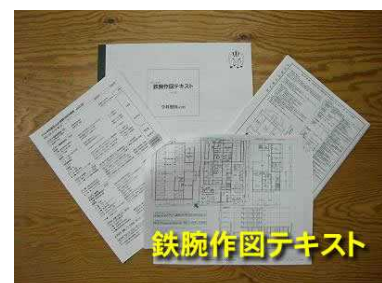


C:製図作図系

C100Y	用紙セット（10 枚+10 枚）	対象：用紙が必要な方	オススメ度○
内容	製図試験用 A2 の解答用紙（厚紙） + エスキース用紙（薄紙）10 枚ずつセット。 オンライン上では、さらに厚紙だけ、薄紙だけ購入することも可能です。		
教材	A2 用紙		
費用	1,800 円（コース生 1,500 円）	備考	段ボール 4 角柱に丸めて送付します。



C101Y	鉄腕作図テキスト+DVD	対象：3 時間作図ができていない方	オススメ度○
内容	作図方法の基本からポイントまでを解説したテキスト by 学科製図.com もう 10 年以上の隠れたベストセラーとなっています。 平成 18 年度課題をベースに解説しています。		
教材	鉄腕作図テキスト A4：50 ページ + 3 時間作図 DVD		
費用	3,500 円（コース生 3,000 円）	備考	



その他、シャープペン、テンプレート、フローティングディスク等を製図用具も販売しています。

D:経験値系テキスト

D100Y	エマージェンシーマニュアル（復刻版）	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度○
内容	製図試験の経験値が少ない方、初受験の方に贈る試験会場で何が起こっているのかというテキストです。平成 13 年、14 年版なのですが、平成 30 年でも十分読み応えがあり、コピー製本で復刻しました。		
教材	A4 コピー製本 P128 （元々は学芸出版社刊行）		
費用	1,800 円（コース生 1,500 円）	備考	

D290S	本試験再現図面集	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度○
内容	本試験分析をする上で欠かせない 1 冊。30 枚の本試験再現図面を解説。		
教材	A3 コピー製本 P50 （元々は学芸出版社刊行）		
費用	3,000 円（コース生 2,500 円）	備考	

E:セミナー・講習会・模試

弊社では直接指導する講習会を中心に、オープンな講習会及び模試を行っています。講習会は講義とワークショップで構成しています。その他、日程が合えば、地方他でも講習会を予定しています。メルマガをご参照ください。

